Beyond Angiography Japan

Beyond Angiography Japan XX

Imaging modalityの潜在能力を引き出す

日時 2015年4月23日(木) 12:00~20:00

会場 梅田スカイビル タワーウエスト スペース36

〒531-6023 大阪市北区大淀中1丁目1番88号 TEL:06-6440-3901

会長: 五十嵐 慶一(JCHO北海道病院)

会費: 3,000円

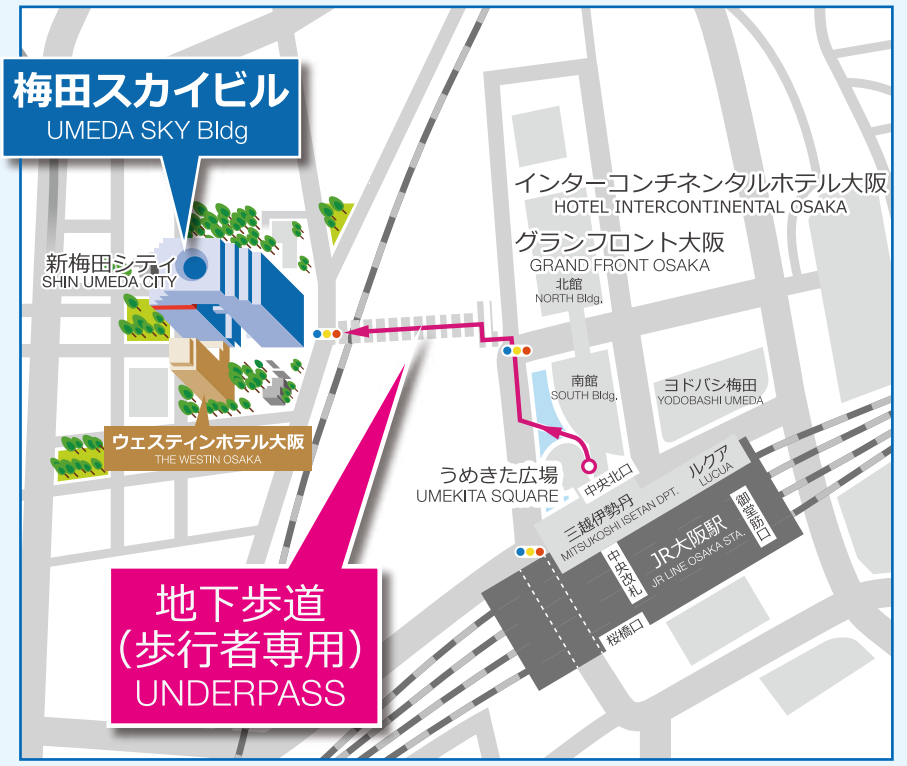
http://www.visitech.co.jp/baj/20/index.html

参加者へのご案内

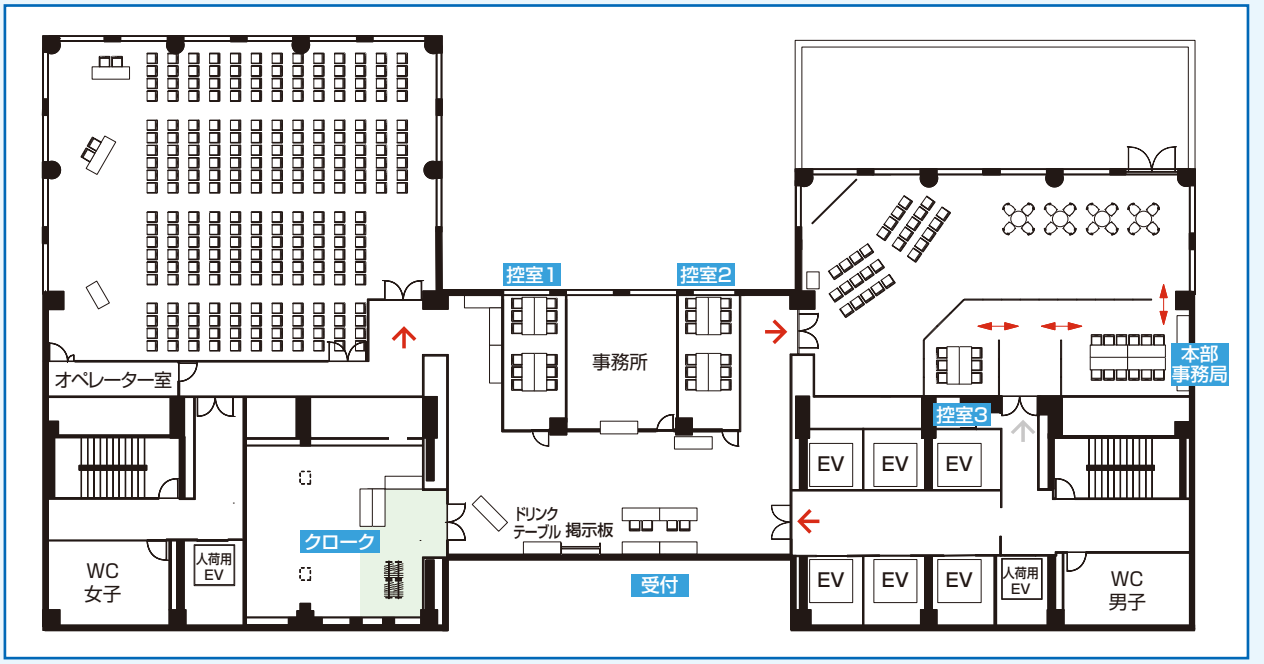
会　期: 2015年4月23日(木)
会　場: 梅田スカイビル　タワーウエスト　スペース36
会　長: 五十嵐　慶一（JCHO北海道病院）
参加費: 3,000円

※本会出席により、日本心血管インターベンション治療学会専門医・認定医資格更新単位が1点取得できます。

アクセスマップ



会場案内図



日時 2015年4月23日（木） 12:00～20:00

会場 梅田スカイビル タワーウエスト スペース36

Imaging modalityの潜在能力を引き出す

「Beyond Angiography」は、米国で Nissen 教授（Cleveland Clinic）、Yock 教授（Stanford University）らが中心となって発足した会で、日本でも 1996 年に Beyond Angiography Japan が発足し、今回で記念すべき第 20 回目を迎えることとなりました。

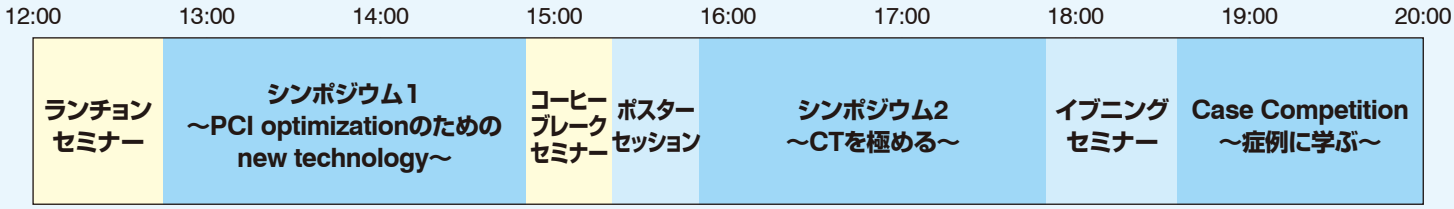
本会では、血管造影法の限界を補完し得る新たな診断技術である血管内エコー法、血管内視鏡、血管内ドップラー法、冠内圧法、OCT/OFDI、超音波組織正常診断法（Virtual Histology, IVUS, iMAP）に加え、非侵襲的診断法である MSCT や MRI 等を取り上げてきました。それらの科学的根拠、臨床的有用性および安全性などについて詳細に検討し、毎回の発表や討論を通じて最新の知見が紹介され、本領域の発展に大きく貢献してきました。

第20回目を迎える今回のテーマは、「Imaging modalityの潜在能力を引き出す」としました。近年、驚くべきスピードで modality が進化し、その活用法も多種多様となってきております。Imaging modality を実際の臨床に活かすためには、各種 modality が持つ潜在能力を存分に引き出し、それを理解することが必要です。今回は特に、本邦で普及率の高い MSCT をトピックとしたセッションを設け、基本から最新技術まで幅広く討論をする予定です。また、前回好評であった Case competition を今回も引き続き開催致します。皆様の日常診療において経験された興味深い症例を公募しますので奮ってご応募ください。

発表者、参加者が一体となっての熱い意見交換の場にしたいと思いますので、多くの皆様のご参加を心からお待ちしております。

大会長
五十嵐　慶一（JCHO 北海道病院）

Program at a glance



プログラム

Opening Remark　五十嵐　慶一（JCHO北海道病院）

12:00-12:45 **ランチョンセミナー Beyond Angiography:Past, present and future**

座長：五十嵐　慶一（JCHO北海道病院）　演者：本江　純子（菊名記念病院）

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

12:45-14:50 **シンポジウム1 ～PCI optimizationのためのnew technology～**

Physiology AssessmentにおけるiFR®の位置づけと最新の知見

座長：藤田　博（京都第2赤十字病院）　演者：松尾　仁司（岐阜ハートセンター）

共催：ボルケーノ・ジャパン株式会社

OCT New Technology

座長：志手　淳也（大阪府済生会中津病院）　演者：新家　俊郎（神戸大学）

共催：セント・ジュード・メディカル株式会社

OFDI ～3D-OFDI～

座長：木島　幹博（星総合病院）　演者：上野　勝己（松波総合病院）

共催：テルモ株式会社

D-SPECTを用いたPCIのためのRoadmap

座長：鈴木　孝彦（豊橋ハートセンター）　演者：井口　信雄（榊原記念病院）

共催：日本バイオセンサーズ株式会社

Overview of Results with NIRS IVUS TVC Imaging, and the Lipid-rich Plaque Study

座長：赤阪　隆史（和歌山県立医科大学）　演者：James E.Muller（InfraReDx, Inc.）

共催：株式会社グッドマン、ニプロ株式会社

14:50-15:20 **コーヒーブレークセミナー**

座長：五十嵐　慶一（JCHO北海道病院）

コーヒーブレークセミナー1 「プラスグレル、これからの論点」

演者：中尾　浩一（熊本済生会病院）　共催：第一三共株式会社

コーヒーブレークセミナー2 「石灰化病変におけるOFDI guided PCI」

演者：大久保　宗則（岐阜ハートセンター）　共催：テルモ株式会社

15:20-15:50 **ポスターセッション（ポスター討論）**

15:50-17:50 **シンポジウム2 ～CTを極める～**

座長：五十嵐　慶一（JCHO北海道病院）、望月　輝一（愛媛大学医学部附属病院）

Perfusion CTの現状

演者：真鍋　徳子（北海道大学病院）

FFR-CTの現状と今後の展望

演者：管家　鉄平（JCHO北海道病院）

CTとOCTのfusionによるshear stressの研究

演者：大竹　寛雅（神戸大学）

高分解能CTへの期待

演者：陣崎　雅弘（慶應義塾大学）

共催：東芝メディカルシステムズ株式会社、GEヘルスケアジャパン株式会社

17:50-18:35 **イブニングセミナー Beyond Angiographyの過去・未来**

座長：尾崎　行男（藤田保健衛生大学）　演者：平山　篤志（日本大学医学部）

共催：ブリストルマイヤーズ株式会社

18:35-20:00 **Case Competition ～症例に学ぶ～**

座長：鈴木　孝彦（豊橋ハートセンター）、寺島　充康（豊橋ハートセンター）

ディスカスタント：新家　俊郎（神戸大学）、藤田　博（京都第2赤十字病院）、松尾　仁司（岐阜ハートセンター）

GuideLinerを併用した血流除去によりOCTで入口部病変を評価し得た2例

岩間　一（奈良県西和医療センター）

FFRとCFRの結果に乖離を生じた冠動脈瘤合併冠動脈多枝病変の一例

上谷　晃由（愛媛大学大学院）

各種モダリティーで冠動脈狭窄部位のLotus root-like appearanceを評価した一例

清家　史靖（愛媛県立今治病院）

たこつぼ型心筋症を疑ったが心臓MRI検査により心尖部肥大型心筋症と診断できた1例

高畑　昌弘（JCHO北海道病院）

表彰&Closing Remark　鈴木　孝彦（豊橋ハートセンター）

ポスター演題

P001 **血管内視鏡およびOCTにより薬剤溶出性ステントにおける慢性期での新生内膜のリモデリングを観察しえた1症例**
市川　稔（東大阪市立総合病院）

P002 **慢性期に無症候性に完全閉塞となったSirolimus-eluting stent(SES)のin- stentにEndeavor-zotarolimus-eluting stent(E-ZES)留置し、33ヶ月後まで経時的にOCT、血管内視鏡で観察しplaque sealing効果を確認しえた1症例**
市川　稔（東大阪市立総合病院）

P003 **冠動脈ステント留置後のDAPT中止にIVUS/OCT評価は必要か?**
國近　英樹（済生会山口総合病院）

P004 **Instantaneous Wave-free Ratio(iFR) Guided PCI on Decision-making at The End of PCI for Tandem Lesion**
梅原　英太郎（杉村会杉村病院）

P005 **Percutaneous Coronary Intervention to Multiple Coronary Aneurysms with Severe Stenoses Based on Multiple Physiological Assessments**
割澤　高行（新東京病院）

P006 **3枝病変を有する虚血性心疾患の治療方針を明確に決定するために心臓MRIが有効であった1例**
鈴鹿　裕城（済生会松山病院）

P007 **Bail-out目的で冠動脈主幹部に留置したPTFE-covered stentの2年目のOCT評価**
山崎　誠治（札幌東徳洲会病院）

P008 **多種の血管内イメージングを用いて冠動脈結節状石灰化様病変を観察した症例**
杉山　知代（横須賀共済病院）

P009 **心臓CT・アンモニアPET融合画像が多枝病変における心筋虚血の判定に有用であった1例**
川口　直人（愛媛県立中央病院）

P010 **OCTとMRIが責任冠動脈の同定に有用であった急性心筋梗塞の1例**
高橋　龍徳（愛媛県立中央病院）

P011 **IVUSにて診断し、MRIにて継時的にフォローしえた膝窩動脈外膜嚢腫の1例**
岡野　光真（北野病院）

P012 **MRIにて診断された塞栓性心筋梗塞の一例**
A case of embolus-related myocardial infarction diagnosed by MRI
中田　圭（製鉄記念室蘭病院）

P013 **急性心筋梗塞への再疎通療法成功後に残枝病変評価のためFFR測定を実施した一例**
酒井　孝裕（北九州市立八幡病院）

P014 **EES留置後のVLSTに対してOFDIで病変を観察し、DCBにて治療を行った2症例**
嘉悦　泰博（加古川東市民病院）

P015 **Stent in stentを行う決断：血栓吸引・バルーン拡張無効の超遅発性ステント閉塞において、IVUSによるblack wallの同定が血流再開に寄与した一例**
前田　武俊（大浜第一病院）

P016 **同一血管内に留置したベアメタルステントと薬剤溶出性ステントの超慢性期OCTおよび血管内視鏡所見の比較**
阿部　七郎（獨協医科大学ハートセンター）

病変の機能的評価を最適な方法の選択によってより効果的に。
ボルケーノはFFRと最大充血不要のiFR®をご提供します。
どちらも同じワイヤー、同じシステムで実施できます。

FFR

Fractional Flow Reserve

虚血診断能の確かな実績

FFRガイダンスは25%以上の症例において、治療手段の選択を変えます[1,2]

iFR®

instant wave-Free Ratio™

そして新たな選択肢

ボルケーノコンソールのアップグレードにより、
画面上に隣り合ったタブが表示され、
iFR®とFFRモダリティの選択が可能に

ワークフローをシンプルに

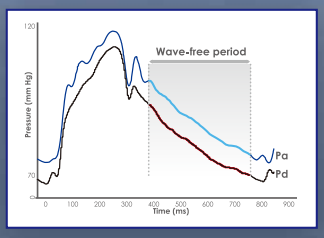
iFR®モダリティは最大充血なしで計測可能

FFR ワークフロー

血管拡張剤準備 → ノーマライズ → ワイヤーを進める → 血管拡張剤投与 → 圧記録

iFR® ワークフロー

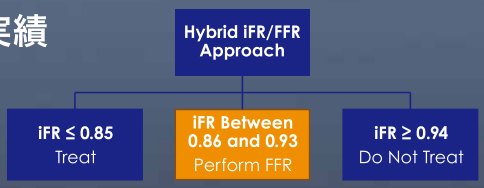
ノーマライズ → ワイヤーを進める → 圧記録



より確かなエビデンスへ

累計4000例以上のiFR®スタディ実績

ADVISE IIスタディより[3]



WIRE SYSTEM MULTI-MODALITY

Verrata™ Pressure Guide Wire

素早く、確実にワイヤーを着脱

- ワイヤーの手元側端部はキンクに強く、接続時に液体の影響を受けにくいデザインです
- クリップコネクターは、複数の接続端子により確実に圧シグナルを伝達します

ONE

VOLCANO
PRECISION GUIDED THERAPY

1. Curzen N, et al. RIPCORD: Does Routine Pressure Wire Assessment Influence Management Strategy at Coronary Angiography for Diagnosis of Chest Pain? Abstract presented at PCR 2013.
2. Van Belle E, et. al. Impact of the use of FFR on the coronary revascularization strategy: insights from a large French multicenter FFR registry. Archives of Cardiovascular Diseases Supplements (2011) 3, 1-25.
3. Escaned J. ADVISE II: A Prospective, Registry Evaluation of iFR vs FFR. TCT 2013. Lecture conducted from San Francisco.

製造販売業者
ボルケーノ・ジャパン株式会社
〒108-0014
東京都港区芝4丁目1番23号 三田NNビル24階
Tel : 03-6414-8700　Fax : 03-6414-8701
www.volcanojapan.com
製造業者　Volcano Corporation

販　売　名：ボルケーノ s5 イメージング システム
医療機器認証番号：21800BZY10159000

販　売　名：s5ix イメージング システム
医療機器認証番号：22200BZX00696000

販　売　名：プライムワイヤ　プレステージ
医療機器承認番号：22300BZX00128000

販　売　名：CORE Mobile イメージング システム
医療機器認証番号：225ADBZX00138000

602-0200.13/001